

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	6-5-2	サービスの実施にあたり、利用者の権利を守り、個人の意思を尊重している
タイトル①	支援側の多様性が利用者の自由な生活の実現に寄与しています	
内容①	職員と利用者が対等な関係において支援がなされることをモットーとしており、ホーム全体として差別や区別なく生活が送れることを基本方針としています。職員の配置は、国籍・信条等に関係なく行われており、支援側の多様性が利用者の自由な生活の実現に寄与しています。また同性介助を基本とし、職員採用にあたってはバランスを考慮するよう努めています。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	6-4-2	利用者が主体性を持って日常生活を楽しく快適に過ごせるような取り組みを行っている
タイトル②	落ち着いた雰囲気、季節の意識等々利用者が生活しやすいよう配慮に努めています	
内容②	大人が生活する空間として派手な装飾を好まず、障害特性を考慮した落ち着いた雰囲気をつくりだすよう努めています。また男女両性の利用者が生活しているため、ツールの利用によりセパレートするなど配慮にあたっています。食事については利用者一人ひとりのこだわりや健康状態を考慮し、またイベントや季節を意識しバラエティに富んだメニューとなっています。	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	6-4-6	利用者が地域社会の一員として生活するための支援を行っている
タイトル③	入浴支援で連携するなど地域への貢献を果たしています	
内容③	新型コロナウイルスの対応については行政や保健所と共同し、徹底した衛生管理により利用者の安全を確保するよう努めています。マニュアルの確認、新情報の共有、利用者の体調管理等がなされており、先ず第一に利用者が感染することのないよう取り組んでいます。また地域の福祉施設とは入浴支援で連携するなど協力をしています。	